

豪の大学 功績認め基金創設

今年五月、三十二歳の若さで亡くなった新潟市出身の歴史学者、保
莉実さんの業績をたたえ、オーストラリア国立大学（キャンベラ）が
このほど、「保莉実記念奨学基金」を創設した。同国の先住民の歴史
研究に新風を吹き込んだことが評価されたもので、大学や研究者らは、
少壮学者の個人名を冠した奨学金は画期的、という。闘病中に執筆さ
れた初の著書も先月、出版され、日豪両国の同僚や友人は、志を伝え
ていこうと、基金の寄付集めを通じて交流の輪を広げている。

先住民
研究者
故保莉実さん（新潟市出身）



重ねた。迷信や神話が入
り交じる先住民の歴史語
りを排除する学術的な歴
史学に興議を唱え、先住
民が語る歴史に向き合
い、共有する歴史学の在
り方を模索していく。

保莉さんは一橋大学在
学中、荒涼とした大地に
五万年以上暮らしてきた
先住民アボリジニの歴史
にひかれ、研究を始めた。
その後、アボリジニの
村で暮らし、狩りや儀礼
に参加し長老らと対話を

こつた考えを論文に
まとめ、二〇〇一年、オ
ーストラリア国立大学で
博士号を取得。昨年、新
潟日報文化欄にアボリジ
ニの世界を描いたエッセ
ーを掲載した。
日豪両国で研究を進め
る

現場主義貫徹 生の声論文に

起した初の

著書「ラデ
イカル・オ
ーラル・ヒ
ストリー」
（御茶の水
書房）が先

月、出版された。博士論
文を下敷きに、亡くなる
直前に脱稿した作品で、
「予想される反論なども
掲載した型破りな学術
書」（同書房）という。

現在、研究者仲間や中
学・高校の同級生らが寄
付集めを進めている。橋
渡し役を務める米国在住
の姉由紀さん（三）は「弟
が残したものを広げよう
と、多くの人がかかわっ
てくださり、本当にうれ
しい」と話していた。

基金への寄付は郵便振
替口座005000121
41246、保莉実記念
奨学基金を募る会。詳し
くはホームページ、htt
p://www.hokarimin
oru.org



保莉さんの初の著書となった「ラディカル・オーラル・ヒストリー」

ていたが、昨年七月悪性
リンパ腫と診断され、九
カ月の闘病生活の末、メ
ルボルンで亡くなった。
今回の奨学基金は死
後、同僚らの働き掛けで
設立された。保莉さんの
ように、同国の先住民史
研究に関連したフィール
ドワークに携わる大学院
生を世界中から募り、支
援する計画だ。

同大では広く寄付を募
り、来年七月、保莉さん
の誕生日に、第一回の授
与式を行う予定。

指導教官だった同大の
アン・マックグラス教授
は「彼の仕事は革新的で、
道場破りだった。彼の
死による損失は非常に大
きいが、次世代の研究者
を支援することが、彼の
志を確実に受け継ぐこと
になる」と話す。

また、アボリジニとの
交流を基に、既存の歴史
学の在り方に鋭く問題提
起した初の